

長町裏のエゾエノキ (ながまちうらのえぞえのき)

米沢市春日三丁目8-7 熊野神社境内

米沢市春日3丁目の平地にあり、古くから熊野大権現の御神木として保存されてきた。エゾエノキとしては県内随一の巨木といわれる。根周4.4m、胸高幹周4.15m、高さ約14.5m、地上2.5mの高さで四周に枝を分ち、その枝張りは、東北方向へ8.2m、東南方向へ10.3mにも及ぶ。

昭和31年5月山形県天然記念物に指定されている。

なお、エゾエノキの名で指定されているが、樹種はエノキである。

〔山形県森林協会〕

長町裏のエゾエノキは、古くから熊野大権現のご神木として保存されてきたもので、昭和31年5月11日に県指定天然記念物に指定されている。

樹齢は、約四百五十年で、根周4.4m、胸高幹周4.15m、高さ約15mあり、エゾノエキとしては、県内随一の巨木といわれる。

地上2.5mの高さで四周に枝を分ち、その枝張りは、東北方向へ8.2m、東南方向へ10.3mにも及び、他に見られない板状根を有している。

また、この御神木がエゾエノキの南限といわれている。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



【森林やまがた42号(2000年9月)記載】・【森林やまがた82号(2004年1月)記載】